

2025 年日本民間放送連盟賞 技術部門 最優秀・優秀を W 受賞 技術部門では 5 年連続受賞の快挙

日本テレビ放送網株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員 福田博之、以下「日本テレビ」)は、「2025 年日本民間放送連盟賞 技術部門」において、「3D スキャンワークフローの簡易化とその活用」が最優秀を、「特殊カメラを用いたゴルフ打球軌跡リアルタイム描画システムの開発」が優秀を受賞しましたことをご報告いたします。同部門での受賞は 5 年連続となります。

日本民間放送連盟賞の技術部門は、放送技術に関する優れた開発や改良によって、民間放送事業の発展に大きく貢献した業績に対して授与される権威ある賞です。

日本テレビでは、今後も積極的な新技術の導入により、皆様へ魅力的なコンテンツをお届けできるよう更なる開発を進めてまいります。

最優秀 受賞テーマ： 3D スキャンワークフローの簡易化とその活用

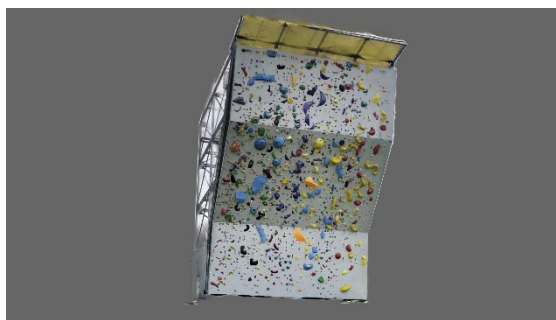
本開発では 3D Gaussian Splatting という AI 技術を用いることで 3D スキャンのワークフローを大幅に改善し、誰もが容易に扱えるシステムを目指しました。主に以下の点が高い評価を受け、受賞に至りました。

① 従来の 3D スキャン技術では、専用の機材が必要であり、放送品質に仕上げるための事後処理にも数週間を要するという課題がありました。一方で、本システムでは、スマートフォンなどで 10 分ほどの映像を撮影するだけで、高品質な 3DCG を生成することが可能になりました。

② 3D データの生成が容易になり、多様なコンテンツへの活用が大きく広がりました。具体的には以下のような活用例が挙げられます。

- ・ 競技コース CG の迅速な自動生成、ならびに実寸大クライミングウォールのスタジオ内でのリアルタイム合成
- ・ 特設サイトにおける、能登半島地震の被災状況を伝えるデジタルアーカイブの構築と 3D ビューアの実装

(サイト URL : <https://news.ntv.co.jp/pages/notojishinkiroku>)



テストで生成したクライミングウォール CG

●受賞者のコメント

★起案／開発 戸部雄輝 (技術統括局 コンテンツ技術運用部)

岸楓馬 (技術統括局 制作技術部)

本取り組みでは、従来のワークフローを根本から見直し、誰もが容易に 3DCG 制作に取り組める環境を実現しました。さらに、制作した 3DCG を放送現場で即時に活用できるよう、リアルタイム CG や編集システムとの連携も可能とし、周辺技術の内製化にも取り組みました。結果として、これまで専用ソフトでしか扱えなかった 3DCG を、放送用の各種システムとシームレスに連携できるようになりました。今後もテレビ制作技術の効率化と高度化に貢献できるよう開発を進めてまいります。

●受賞歴

(一社)映像情報メディア学会第 52 回 技術振興賞コンテンツ技術賞 受賞

(一社)日本映画テレビ技術協会 第 78 回 技術開発賞 受賞

(公財)放送文化基金賞 第 51 回 放送技術部門 受賞

優秀 受賞テーマ： 特殊カメラを用いたゴルフ打球軌跡リアルタイム描画システムの開発

■特殊カメラを用いたゴルフ打球軌跡リアルタイム描画システムの開発

既存の打球軌跡リアルタイム描画システムにおける価格と精度のトレードオフという課題に対し、特殊カメラを活用した独自のシステムを開発しました。低コストながら高精度かつ低遅延な描画を実現した本システムは、既にゴルフ中継やライブ配信において実用化され、コンテンツの品質向上に貢献しました。今後は、スポーツのみならず、幅広い分野で応用するために開発を続けます。これらの特性、実績、及びシステム拡張の将来性が高く評価され、受賞に至りました。



写真：ゴルフ打球軌跡リアルタイム描画システム

●受賞者コメント

★起案／開発 鈴鹿聖之介（技術統括局 創造テクノロジー部）

鳥谷周太郎（技術統括局 制作技術部）

篠田貴之（コンテンツ戦略本部海外戦略センター 兼 技術統括局創造テクノロジー部）

課題となっていたゴルフの打球軌跡表現について、新たな発想と独自のアプローチにより、コストを抑えつつ効果的に改善することができました。今後も強いチームワークを活かし、視聴者にとってより分かりやすく魅力的な番組づくりを目指して、新たな挑戦を続けてまいります。この度は名誉ある賞をいただけたこと、心より感謝申し上げます。

●受賞歴

(一社)映像情報メディア学会 第 52 回 技術振興賞 進歩開発賞 受賞

～日本テレビの過去の日本民間放送連盟賞【技術部門】受賞歴～

●2024 年 優秀「新しいビデオパンの開発と多機能化」

●2023 年 優秀「ポリュメトリックビデオを用いたプロ野球中継
～自由視点映像による新たな映像体験を提供～」

●2023 年 優秀「AI モザイク編集ソフト「Blur0n」の開発～働き方改革と適切な個人情報保護の実現～」

●2022 年 最優秀「AI 業務支援システム『エイディ』」の社内開発と運用」

●2022 年 優秀「WEB ブラウザ上で動作する素材アップロードツール『クラブ』の開発」

●2021 年 優秀「クラウドプレイアウトを用いた日テレ系ライブ配信システムの開発」

●2019 年 優秀「画像認識 AI を用いた番組応用と展開」

●2018 年 最優秀「画像認識 AI 技術を用いた番組制作支援」

<以降省略>